

02 チームにおける人材力

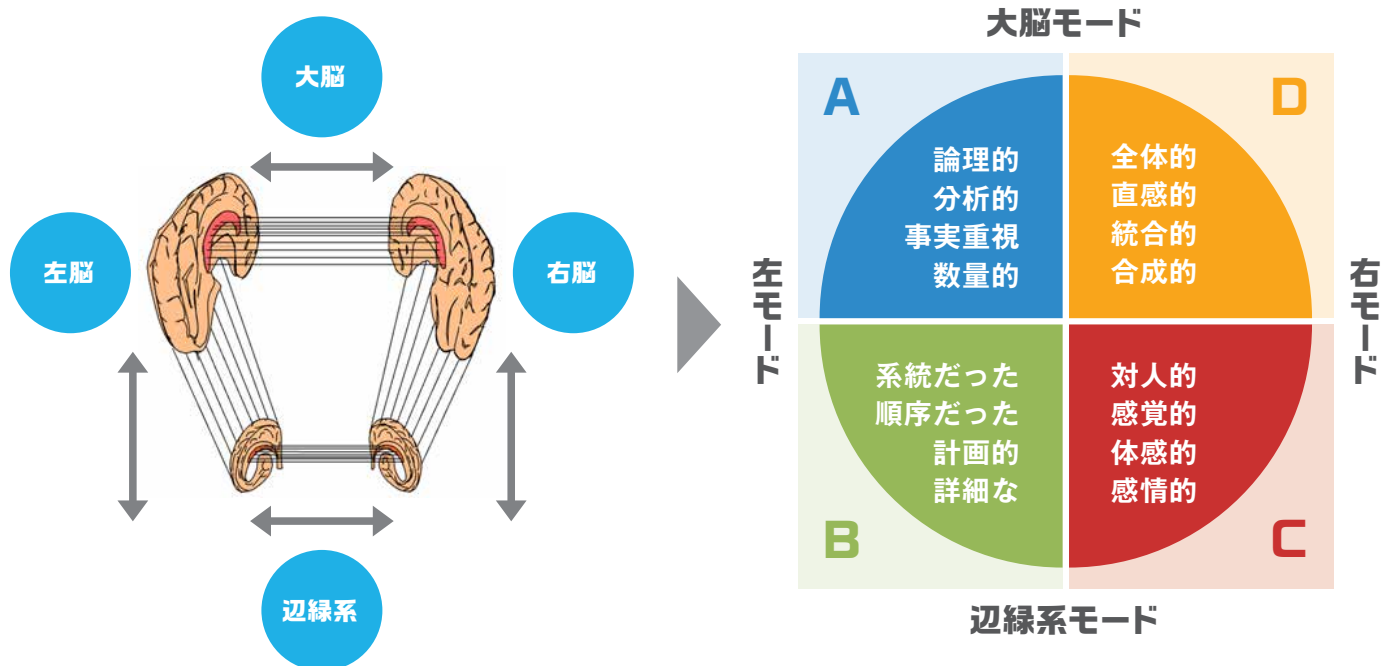
“チームビルディング”における「人材力」とは、「メンバーの個性や強みを把握し、それらを効率的かつ効果的に目標達成・問題解決に活かすこと」です。人の個性を構成する要素は、「身体的特徴」や「性格」、「思考特性」、「行動特性」、「特技」、「価値観」など多様ですが、今回はあまり顕在化してなく（客観視しづらく）、かつ“チームビルディング”に対する影響力も大きい「思考特性」を中心に考えていきましょう。

利き脳

「利き手」や「利き眼」があるように、私たちの脳にも「利き」があり、その「利き脳」によって「思考特性」も変わってくると言われています。いわば、脳が“無意識に反応”する思考のクセのようなものです。例えば右利きの人に「名前を書いてください」とお願いすると右手で書きますよね。それと同じように意識していないと脳も“利き”を使います。そして“利き”でない手で字を書くと質が落ちると同様利きでない思考も努力が必要になります。この「思考特性（利き脳）」は大きく4つのタイプに分類され、異なる機能を担う大脳新皮質の左右と辺縁系の左右の計4つの部位に起因しています。4種類の脳領域は、大脳新皮質の左側を「論理・理性脳のAタイプ」、辺縁系の左側を「堅実・計画脳のBタイプ」、辺縁系の右側を「感覚・友好脳のCタイプ」、大脳新皮質の右側を「冒険・創造脳のDタイプ」と名付けられています。

利き脳（優勢タイプ）の数や指数、それらのバランスに「理想の形」はなく（つまり“良し悪し”や“優劣”はない）、「思考特性」における個性を表現しているに過ぎません。利き脳は「先天3割、後天7割」と言われ、環境や努力によって変わる・変えることができる一方で、先天的な割合も大きく、まさにその人の才能と言えるかもしれません。

全体脳モデル



思考特性

	キーワード	スキル	典型的な言葉	他人が言う悪口	学習スタイル(興味)
理性的な自己 A	論理的 事実に基づく 理性的／批判的 分析的／数量的 数学的	問題解決 分析 統計 技術 科学 財務	ツール ハードウェア キーポイント 採算はどうか 分解する 細分化する 批判的な分析	権力志向 無感情 計算機 無神経 取っ付き難い オタク	数量化し 分析し 論理化し 論理的に処理
堅実な自己 B	データ収集家 保守的 感情抑制できる 順序だった 理路整然とした 支配的 詳細な 読書家 (情報として)	計画 規則 監督 管理 組織 実行	習慣づける これが私たちのやり方 法と秩序 自己規制 定石通りに 安全重視／順序	口うるさい 自分のことは棚に上げる 想像性欠如 融通がきかない 泥沼にはまる 仕事を機械的にこなす	整理し 順序だて 評価し 実行する
感覚的な自己 C	音楽的／精神的 象徴的／話好き 感情的 直感的 (対人関係) 読書家 (楽しみとして)	考えの表明 対人関係 文章を書く (手紙) 教育／訓練 コミュニケーション	チームワーク開発 家族 相互作用 参加型 人間の価値 個人の成長 人的資源	大げさ おしゃべり 馴れ合い お人よし だまされやすい 真に受ける	共有し 内面化し 共感し 参加する
冒険的な自己 D	直感的 (解決) 同時的／想像的 合成者 全体論的 芸術的／空間的	統合 視覚化 変化をもたらす 概念化 アイデア形成 直感	アイデアを楽しむ 全体像／革新的 相乗効果／先端的 コンセプト 創造的破壊	無謀 気が散る 非現実的 奇想天外 夢想家 無規律	探究し 発見し 概念化し 統合する

A 論理・理性脳

事実・証拠・数量化・統計・効率性



○ OKアクション

- ・ 理路整然と話す
- ・ 数値、統計、データを参照する
- ・ 簡潔で明瞭、正確な情報での検証
- ・ 要点を深く突く
- ・ 客観的な情報に絞る

× NGアクション

- ・ おしゃべりのし過ぎ
- ・ 個人的フィーリングの押し付け
- ・ 非効率な時間の使い方
- ・ 感情的な行動
- ・ 主観的で論理性のない言動

D 冒険・創造脳

質問・たとえ話・相乗効果・新奇性・全体像



○ OKアクション

- ・ 詳細は必要最低限に
- ・ 新奇性と面白さ
- ・ ビジュアルで比喩的な表現
- ・ コンセプトを示す
- ・ 自由に研究できる

× NGアクション

- ・ 新たな活動への抵抗
- ・ 繰り返しの言葉
- ・ ユーモアに乏しい
- ・ 安全策、定石通り
- ・ 話が細かくて、緻密

B 堅実・計画脳

具体例・実直・規則・順序・安全策・準備



○ OKアクション

- ・ 確立された手順
- ・ 書面で示された具体的な計画
- ・ 前例があるという保証
- ・ 信頼性のある行動
- ・ 予定に沿ったアポイント

× NGアクション

- ・ 飛躍し過ぎるアイデア
- ・ 実現性や可能性が乏しい
- ・ 話題に一貫性がない
- ・ 明確な議題がない
- ・ 話や展開が早すぎる

C 感覚・友好脳

支援・対話・共感・精神論・フレンドリーシップ



○ OKアクション

- ・ フィーリングを大切にする
- ・ 周囲との平等な配慮
- ・ 好感を与える態度
- ・ 他者への積極的な関与
- ・ ニーズへの配慮と感情移入

× NGアクション

- ・ 顔を合わさずに話す
- ・ 単刀直入で味気の無いやりとり
- ・ 理屈ばかりが先行する
- ・ 個人的な共感に乏しい
- ・ 褒め言葉が少ない

Challenge 03

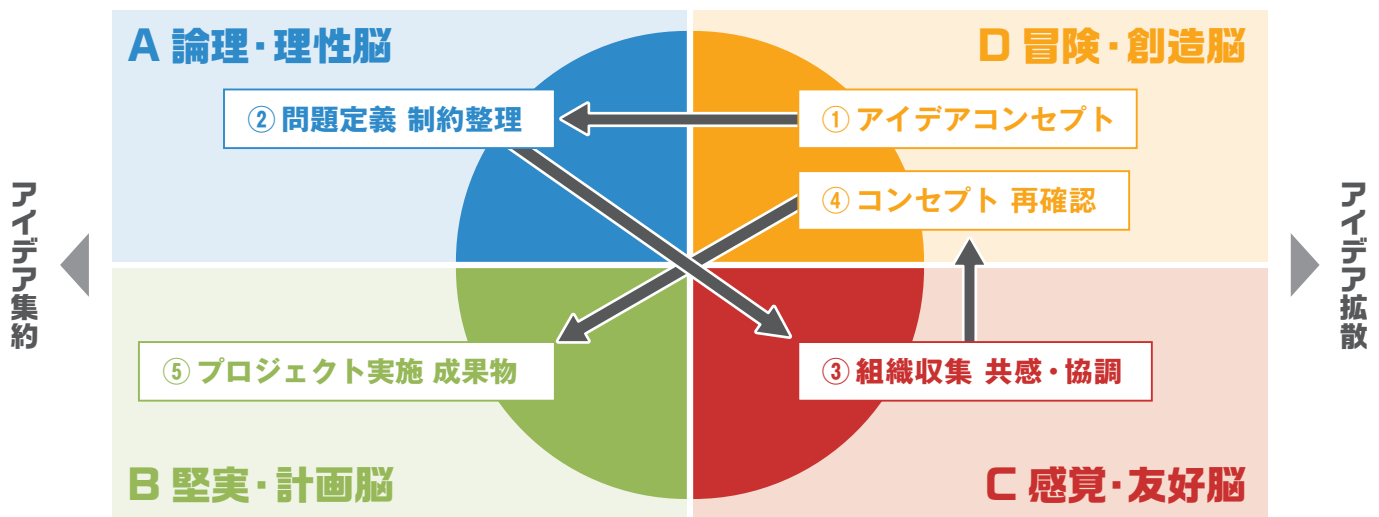
「利き脳」診断簡易版 (<https://pando.life/steamslab/service-1639>) にアクセスし、受検してください。その結果と実際の自分を照らし合わせながら、あなたの「思考特性」を分析してみましょう。

Challenge 04

「利き脳」に基づいたチームメンバーの特徴を、以下の表を使ってまとめてみましょう。

名前	優勢タイプ	思考の特徴	効果的なコミュニケーションの取り方／活かし方

クリエイティブプロセス



Challenge 05

成果の高い「強いチーム」にはどのような特徴があるでしょうか。「成果の低い」チームや「そこそこの成果」のチームと比較しながら考えてみましょう。また、「強いチーム」を目指すために、具体的にどうしていくのかチームで話し合ってみましょう(制限時間10分)。

※「利き脳」はフォルティナ株式会社の登録商標です。

※本モジュールに記載の図表はフォルティナ株式会社のホームページ・資料等をもとに作成したものです。